

## 四国教育オーディオロジー研究協議会

# 第16回 夏の研修会のお知らせ

盛夏の候、貴職におかれましては益々御清祥のことと存じます。平素は、聴覚障がい児教育に御尽力いただきありがとうございます。

さて、四国教育オーディオロジー研究協議会第16回研修会を次の要領で行います。お忙しい時期とは存じますが、皆様の御参加をお待ちしております。

1. 日 時 令和元年8月16日(金) 14:00~16:30  
8月17日(土) 9:00~16:30

2. 主 催 四国教育オーディオロジー研究協議会

3. 後 援 四国地区聾学校校長会 日本教育オーディオロジー研究会  
財団法人日本教育公務員弘済会徳島支部

4. 内 容 ①8月16日(金) 講演会 13:30~14:00 受 付  
14:00~16:30 講演会

《演題》 話しことばを育てる発音・発語指導を考える

《講師》 板橋 安人 先生

『聴覚障害児の話しことばを育てる』の著者、板橋安人先生をお迎えし、御講演いただきます。板橋先生は、筑波大学附属聴覚特別支援学校で、自立活動の発音・発語の指導を長く担当され、退職された現在も、聴覚障害児のための発音・発語指導やことばの育成における第一人者として御活躍されています。今回の御講演では、聴覚障害児が話しことばを習得する学習活動の一環としての発音・発語の学習指導をいかにとらえて実践するかについてお話いただきます。

②8月17日(土) 選択講座 9:00~16:30

希望する講座を選ぶ、少人数の研修です。

第1講座 ○補聴器・人工内耳の管理(基礎) ○文字の読み書きのつまずきについて  
○中・高等部の自立活動 ○寄宿舎から広がることばの活動

第2講座 ○聴覚障がいときこえ(基礎) ○ABR/ASSR 他覚的聴力検査  
○授業における読むこと・書くことの指導について ○小学部での自立活動

第3講座 ○人工内耳概論① ○ことばの発達とその課題

○進路指導について考える ○聴覚障がい児の自己認識

第4講座 ○人工内耳概論② ○乳幼児のことばを育てるポイント

○聴覚障がい者の後期高等教育(情報保障を中心に)

○脳の仕組みとその機能

5. 会 場 徳島県立立徳島聴覚支援学校

住所：徳島市南二軒屋町2丁目4番5号

電話：(088) 652-8594 FAX：(088) 655-3497



- JR四国牟岐線 二軒屋駅下車 徒歩5分
- 徳島市バスまたは徳島バス 二軒屋駅前下車 徒歩5分
- 南二軒屋駅下車 徒歩5分

6. 対象者 聴覚障がい教育関係者

7. 参加費 会 員 500円 (1日参加・両日参加とも)

今年度の年会費(2,000円)未納の方は当日受付でお支払いください

非会員 2,500円 (当日受付で集金いたします)

8. 申込み 聾学校の会員・会員外・・・各校の事務局員に申込書を提出してください。  
その他の会員・会員外・・・次のどちらかの方法で申込んでください。

①別紙申込書をFAX

②ホームページ (<https://sikoku-eaa.jimdosite.com/>)

QRコード→



お弁当の申込みは、参加申込時をお願いします。

当日販売は行いません。

**申込締切日 = 8月2日 (金)**

※手話通訳・要約筆記などの必要のある方は、情報保障の手配がありますので、  
**7月26日 (金) までにお申込みください。**

四国教育オーディオロロジー研究協議会事務局

事務局代表：中山 育美 (徳島県立徳島聴覚支援学校)

事務局：大藪 敏昭 (香川県立聾学校)

原 さおり (高知県立高知ろう学校)

金並 正教 (愛媛県立松山聾学校)

梶谷 由佳 (愛媛県立宇和特別支援学校 聴覚障がい部門)

■問い合わせ先 徳島県立徳島聴覚支援学校内 中山 育美

## 第16回夏の研修会 選択講座紹介

### 第1講枠(9:00~10:30)

補聴器・人工内耳の管理 (基礎)	補聴器の管理方法・イヤモールドの洗い方・もし「音が聞こえないと言われたら？」など子どもたちが毎日使っている補聴器や人工内耳についての基礎講座です。実際に補聴器に触ったり、音を聞いたりしながら学びます。 (徳島校一富永先生・樽先生)
文字の読み書きの つまずきについて	ひらがなの習得段階でのつまずきや、漢字の書きの問題の原因を探るときのポイントとアセスメントを紹介し、様々な角度から対応方法を考えます。 (徳島校一長尾先生)
中・高等部の自立活動	中高等部でどんな自立活動の授業をすればいいの？そもそも自立活動とは何？と悩んでいる方がいらっしゃれば、是非選択してください。自立活動の解説から、香川校で行っている授業の内容や指導のポイントをお伝えします。 (香川校一大藪先生)
寄宿舎から広がる ことばの活動	寄宿舎で行っている様々な言葉の学習。その中でも今回は校外にまでひろげている俳句の創作活動や学校との連携について紹介します。 (松山校一若狭先生)

### 第2講枠(10:45~12:15)

聴覚障がいときこえ (基礎)	聴覚障害教育に初めて関わる先生や、聴覚障害について再確認したい先生対象のきこえの障害についての基礎講座です。 (松山校一峪村先生)
ABR/ASSR 他覚的聴力検査	ABR/ASSR/DPOAE/ティンパノメトリといった他覚的聴力検査の概要をお伝えします。時間が許す範囲でいくつかは検査は実際に測定も行います。 (愛媛大学一立入先生)
授業における読むこと・ 書くことに関する指導	国語の授業などでみられる聾学校の生徒のつまずきや、生徒の読み方・書き方と大人の読み方・書き方の違いに注目し、これまでにを行った読み書きの指導について紹介します。 (松山校一金並先生)
小学部での自立活動	これまでの香川校小学部で取り組んできた日本語文法指導の取り組みや成果についてお話しします。また、近年取り組んでいる「ことばのネットワーク」「ことばノート作り」等についても紹介します。 (香川校一中川先生)

### 昼食(12:15~13:15)

### 第3講枠(13:15~14:45)

人工内耳概論①	人工内耳の適応基準から、仕組み、装用に関する配慮事項、そして、新しい人工内耳の機能まで、幅広く学びます。 (愛媛大学名誉教授一高橋先生)
ことばの発達と その課題	ことばの発達と聴覚障がい児のかかえる課題を考えます。また、聴覚活用、聴覚活用言語習得につなげる聴覚学習を紹介します。 (徳島校一樋口先生)
進路指導について 考える	生徒が進路を実現するために必要な力とは何か。進路・就労に関する各校での取組の紹介や悩み相談を通して、進路指導について一緒に考えましょう。 (松山校一金並先生 香川校一大藪先生)
聴覚障がい児の 自己認識	聴覚障がい児の自己認識について考えます。また、実際に難聴学級や通級指導教室で行った指導を紹介します。 (徳島校一中山先生)

### 第4講枠(15:00~16:30)

人工内耳概論②	人工内耳をよりよく快適につかうために、故障の見極め方や対応について、また、使用場面などの人工内耳の制約について学びます。さらに、人工内耳装用児が教育上抱える課題とその取組について事例を紹介します。 (愛媛大学名誉教授一高橋先生)
乳幼児のことばを育てる ポイント	乳幼児期の子どもとことばを育てる楽しい教材の工夫について紹介します。 (香川校一河合先生)
聴覚障がい者の 後期高等教育 (情報保障を中心に)	当事者の立場から、聾学校を卒業後の大学で受けた支援の様子を情報保障を中心にお話しします。また、愛媛大学で行っている情報保障についても紹介します。 (愛媛大学一立入先生 徳島校一梶原先生)
脳の仕組みとその機能	聞くこと・喋ること・記憶すること・・・脳の機能と役割について分かり易く解説します。 (徳島大学病院一中村先生)

**四国教育オーディオロジー研究協議会 第16回夏の研修会参加申込書**  
**事務局 中山 育美 行**  
**(徳島県立徳島聴覚支援学校内 FAX:088-655-3497)**

勤務先	所属( )	
氏名	( 入会済み会員 ・ 当日入会 ・ 非会員 )	
日時	8月16日(金)講演会	8月17日(土)選択講座
参加の有無	参加 ・ 不参加	参加 ・ 不参加
弁当の要否		要(予約) ・ 不要
情報保障	要 ・ 不要	要 ・ 不要
懇親会	参加 ・ 不参加	

講座選択へ参加される方は、第1講座～第4講座まで各1講座を選び、○印をつけて下さい。

第1講座	9:00 ～10:30 (90分)	補聴器・人工内耳の 管理(基礎) ( )	文字の読み書きの つまずきについて ( )	中・高等部の 自立活動 ( )	寄宿舎から広がる ことばの活動 ( )
	第2講座	10:45 ～12:15 (90分)	聴覚障がいと きこえ(基礎) ( )	ABR/ASSR 他覚的聴力検査 ( )	授業における 読むこと・書くことの 指導について ( )
昼食	12:15 ～13:15				
第3講座	13:15 ～14:45 (90分)	人工内耳概論① ( )	ことばの発達と その課題 ( )	進路指導について 考える ( )	聴覚障がい児の 自己認識 ( )
	第4講座	15:00 ～16:30 (90分)	人工内耳概論② ( )	乳幼児のことばを 育てるポイント ( )	聴覚障がい者の 後期高等教育 ( )

緊急時に連絡をすることがありますので、差し支えなければ「連絡先」をご記入ください。  
 ご記入いただいた個人情報は、本研修会の事務のみに使用します。

連絡先( )

**申し込み締め切り 令和元年8月2日(金)**

\* 情報保障が必要な場合は7月26日(金)までに申し込んでください